

# 教育研究業績書

2018年11月21日

所属：生活環境学科

資格：准教授

氏名：三宅 正弘

研究分野	研究内容のキーワード
都市計画 美食空間学	都市 食空間
学位	最終学歴
博士（工学・大阪大学）、修士（工学・京都大学）、学士（工学・関西大学）	大阪大学大学院 工学研究科 環境工学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. ニューヨーク大学大学院（修士・博士課程）における講義（New York University, Graduate Food Studies）Gastronomical space according to the Japanese and French perspectives: social issues revealed through gastronomic space.	2014年12月9日	It is obvious that if we consider time and space, there are many common aspects in gastronomy between Japan and the United States. For example, what time people start eating meals and how long they spend eating are similar in these two countries. Moreover, the presentation of dishes and the layout of tables -the design or arrangement of the space- can be similar. From a French perspective, one could say that these similarities are quite clear. Additionally, political and/or social interactions between Japan and the US may be responsible for some of these similarities.
2. フランス人文科学研究所・受入教授 Maison des sciences de l'homme	2013年4月1日～2014年3月31日	
3. フランス国立建築大学パリ・ラヴィレット校（国際ポストマスターコース）における講義（Ecole nationale supérieure d'architecture de Paris-La Villette, Post-master Recherches en Architecture）Etudes de l'espace gastronomique	2013年12月6日	De la nourriture a la ville et viceversa... La ou on dispose de la cuisine se cree un espace. L'espace constitue par le recipient, l'espace represente par la table sur lequel repose ce recipient, mais egalement l'espace architectural que cette table va former avec la cuisine, architecture qui elle-même va s'etendre au paysage urbain. La cuisine française et la cuisine japonaise laissent entrevoir leurs particularites lorsque la gastronomie est abordee du point de vue de l'espace et du paysage.
4. スコットランド・ロバートゴードン大学における講義（The Robert Gordon University, Aberdeen）	2004年10月30日	The granite city in Japan
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 豊中市文化財保護審議会委員	2018年4月1日～	区政運営・都市計画への助言
2. 大阪市港湾審議会委員	2017年9月1日～	
3. 大阪市・区長アドバイザー（港区）	2012年～	
4. 西宮市屋外広告物審議会・会長	2009年～	
5. 国土交通省河川景観ガイドライン検討委員会 委員	2006年～	
<b>4 その他</b>		
1. 国際会議 Troisieme Conference Internationale d'Histoire et des Cultures de l'Alimentation（フランス）Tables for eating out, A Table size in France and Japan	2017年06月01日	La taille des tables de restauration Manger en convivialite ou en solo : comparaison entre la France et le Japon Les Japonais n'invitent pas souvent les gens chez soi pour partager un moment convivial autour d'un repas. En revanche, ils n'hesitent pas de s'inviter dans des restaurants ou l'on peut trouver même des tables reservees pour des clients venant manger en solo. Or les Français cherchent plutot la convivialite autour de la table familiale. Cette difference bien contrastee apparait-elle dans les dimensions des

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
2. 国際会議21th International Ethnological Food Research Conference in Heidelberg (ドイツ)	2016年9月1日	tables de restauration? Dans le cadre de mes recherches, je vous presente ma reflexion sur les tables de restauration et des comptoirs en France et au Japon suite aux observations effectuees sur leur taille et leurs caracteristiques.
3. 国際会議Deuxieme Conference Internationale d' Histoire et des Cultures de l' Alimentation (フランス)	2016年5月26日	Millefeuille and Napoleon. The last place of food production in neighbourhoods Millefeuille and France
4. フランスの哲学祭 ( Citephilo 2013) におけるオープニング基調講演 (リール市宮殿美術館)	2013年11月7日	La cuisine japonaise, son identite et ses interferences

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

<b>1 著書</b>					
1. 『近代日本土木史』	共	2018年7月10日	鹿島出版会	「まちのすがた すまいと暮らし」	
2. 関西私鉄文化を考える	共	2012年	関西学院大学出版会		
3. 新修芦屋市史 続篇	共	2010年11月10日	芦屋市役所		
4. 『甲子園ホテル物語 一西の帝国ホテルとフランク・ロイド・ライト』	単	2009年	東方出版		
5. 『遊山箱 一節句の弁当箱一』	単	2005年	徳島新聞社		
6. 『神戸とお好み焼き—まちづくりと比較都市論の視点から—』	単	2002年	神戸新聞総合出版センター		
7. 『石の街並みと地域デザイン 一地域資源の再発見一』	単	2001年	学芸出版社		
8. 『町衆企業とコミュニティ』	共	2001年	高菅出版		三村浩史
9. 『近代日本の郊外住宅地』	共	2000年	鹿島出版会		角野幸博
10. 『阪神間モダニズム』	共	1997年	淡交社		小松左京

<b>2 学位論文</b>				

<b>3 学術論文</b>				
1. Gastronomical space according to the Japanese and French perspectives: social issues revealed through gastronomic space. Etudes de l' espace gastronomique. (論説)	単	2014年8月1日	生活環境学研究 No.2 武庫川女子大学生生活環境学部	
2. 参与観察法によるパリの移民と社会的混合に関する研究 (審査付論文)	単	2014年08月01日	生活環境学研究 No.2, 武庫川女子大学生生活環境学部	
3. 食空間学からの都市計画 : フランスと日本の比較計画論 (特別論文)	単	2013年8月25日	都市計画 = City planning review 62(4), 65-68, 日本都市計画学会	
4. 都市生活空間内における栽培実態に関する研究: 兵庫県西宮市今津地区・鳴尾地区・尼崎市元浜地区を事例に (審査付論文)	共	2012年	都市計画論文集 47(3), 709-714, 日本都市計画学会	深瀬奏
5. 「中心市街地における夜間景観の特質に関する研究」 (審査付論文)	共	2007年	土木計画学研究・論文集Vol. 24, 土木学会	園田史子
6. 「対馬市厳原における歴史的石堀の保全状況と市民意識についての研究」 (審査付論文)	共	2007年	土木学会景観・デザイン研究論文集Vol. 2, 土木学会	樋口明彦, 竹林知樹, 石橋知也, 伊東和彦, 高尾忠志
7. 「徳島・佐古川の形成過程と青石の石垣の特徴」 (審査付論文)	共	2005年	土木史研究・論文集Vol. 24, 土木学会	庄野武朗
8. 「風土的景観の継承活動としての市民参加型石積みに関する研究」 (審査付論文)	共	2005年	日本都市計画学会学術研究論文集, No. 40	庄野武朗
9. 「回想分析を用いた旧街道型細街路の街路イメージの比較」 (審査付論文)	共	2005年	土木計画学研究・論文集Vol. 22, 土木学会	亀谷一洋, 山中英生
10. 「中山間地域における石造社会基盤の景観保全システム 一徳島県・高開の石積みを事例に一」 (審査付論文)	共	2005年	土木計画学研究・論文集Vol. 22, 土木学会	庄野武朗

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
11. 「石造壁構造の視点から見た石造構造物群と石垣集落の変遷と修復システム」(審査付論文)	単	2005年	土木計画学研究・論文 集Vol.22, 土木学会	
12. 「阪神間・六甲山麓における地場石材・本御影石の石垣の形成と展開」(審査付論文)	単	2005年	土木史研究・論文集Vol ,24, 土木学会	
13. 「土木および土木教育における市民共同型石積みの可能性」(審査付論文)	共	2003年	土木計画学研究・論文 集Vol.20, 土木学会	藤田愛, 山中英生
14. 「回想分析を用いた旧街道商店街の街路イメージの分析」(審査付論文)	共	2003年	土木計画学研究・論文 集Vol.20, ??土木学会	亀谷一洋, 山中英生
15. City Culture That Promotes Stone Recycling (審査付論文)	単	2002年	Proceeding of the fifth international ecocity conference, The Fifth International Ecocity Conference, Shenzhen	
16. 「在城郊山脚下景区内居住区的景觀設計」(審査付論文)	単	2001年	山地人居与生態環境可 持續發展國際學術研究 論文集, 中国建築工業 出版社	
17. Design of Residential landscape in Suburban Residential Development at the foot of a mountain and Preservation of the Stone wall (審査付論文)	単	2001年	International Symposium on Sustainable Development of Mountainous Human Settlements and Eco-Environments, Kunming	
18. 「花崗岩が織り成す対比鮮やかな都市風景」(審査付論文)	単	1997年01月	建築雑誌Vol.112, 日本 建築学会No.1413	
19. 「戦前期郊外住宅地開発における山林地の住宅地設計の特徴に関する研究 —阪神間・六甲山麓部における住宅地を事例に—」(審査付論文)	共	1997年	日本都市計画学会学術 研究論文集, No. 32	鳴海 邦碩
20. 「地場石材による石垣景観の形成とその特性維持に関する基礎的考察 —阪神間・六甲山麓部における住宅地を事例に—」(審査付論文)	共	1996年	日本都市計画学会学術 研究論文集, No. 31	鳴海 邦碩
21. 「初期郊外住宅地における共用施設とコミュニティとの関係性に関する研究」(審査付論文)	単	1994年	地域施設計画研究No. 1 2, 日本建築学会	
23. 「名古屋東部丘陵地住宅地開発の計画理念に関する研究 —1920年代後半の計画従事者の論考に基づいて—」(審査付論文)	単 共		日本都市計画学会学術 研究論文集, No. 30	鳴海 那碩
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 日本調理科学会における招待講演	単	2012年9月29 日・大学コ ンソーシア ム大阪	日本調理科学会	
2. 臨海部の都市計画的意味を考える 土地利用マネジメントの課題と その魅力 招待講演	単	2008年12月4 日	日本都市計画学会	
<b>2. 学会発表</b>				
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 庄野武朗、三宅 正弘: 石積み修復システムと石積職人・高開文雄		2004年9月	土木学会全国大会技術 研究発表会講演概要集	
2. 三宅 正弘、庄野武朗 : 徳島県高開の石積みと高開文雄 市民型石積み修復システム		2004年6月	土木計画学研究・講演 集、Vol. 29	
3. 三宅 正弘、林 健 : まちづくり		2004年6月	土木計画学研究・講演	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<p>における店の役割と可能性</p> <p>4. 三宅 正弘：愛媛県外泊の石垣集落の変遷と修復システム</p> <p>5. 三宅 正弘、笹田明伸：街のアイデンティティプレイスとしてのバス停の活用</p> <p>6. 三宅 正弘、庄野武朗：徳島・佐古川における青石の石垣の形成と展開</p> <p>7. 三宅 正弘：神戸・六甲山麓における地場石材・本御影石の石垣の形成と展開</p> <p>8. 三宅 正弘：石のリサイクル活動を通じた地域学習の実践</p> <p>9. 三宅 正弘、庄野武朗：参加型土木工事と石積み教室</p> <p>10. 田中祐一、三宅 正弘、山中英生、：地域体験学習を用いた参加型まちづくりのあり方に関する研究</p> <p>11. 山中英生、三宅 正弘、亀谷 一洋、前田 圭美：回想分析による旧街道商店街の街路イメージの把握</p> <p>12. 山中英生、亀谷 一洋、三宅 正弘：回想分析を用いた旧街道商店街の街路イメージの分析</p> <p>13. 三浦 和夫、三宅 正弘：大規模野菜景観に着目した地域づくりに関する研究</p> <p>14. 三宅 正弘、藤田 愛：土木および土木教育における石積みの役割</p> <p>15. 三宅 正弘：これからの街の形、--- ケーキ屋さん和街のアイデンティティ ---</p> <p>16. 三宅 正弘：郊外および住宅地におけるケーキ店の形成</p> <p>17. 三宅 正弘：阪神間における美術館の形成に関する研究</p> <p>18. 三宅 正弘：山麓斜面住宅地における住宅地開発の変遷とその環境の特徴</p> <p>19. 三宅 正弘：山麓斜面住宅地における開発タイプ別の環境、--- 阪神間六甲山麓部における住宅地を事例に ---</p> <p>20. 三宅 正弘：御影石と郊外住宅地開発、--- 阪神間・六甲山麓住宅地の地場石材による石垣景観に関する研究 ---</p> <p>21. 三宅 正弘：地場石材・御影石と山麓住宅地開発、--- 阪神間・六甲山麓住宅地の地場石材による石垣景観に関する研究その2 ---</p> <p>22. 三宅 正弘：芦屋市山麓住宅地における地場の石垣景観</p> <p>23. 三宅 正弘：芦屋市山麓住宅地における「石垣」景観</p> <p>24. 三宅 正弘、三村 浩史、東樋口 護：都心業務系複能地区における昼間人口・事業所のまちづくり参画に関する研究</p> <p>25. 三宅 正弘、三村 浩史、リムボン、紅谷 昇平：都心業務系複能地区における昼間人口・事業所のまちづくり参画に関する研究、--- その2・まちづくり活動・組織別考察 ---</p> <p>26. 三宅 正弘、紅谷 昇平、三村 浩史、リムボン：都心業務系複能地区における昼間人口・事業所のま</p>		<p>2004年11月</p> <p>2004年11月</p> <p>2004年</p> <p>2004年</p> <p>2003年6月</p> <p>2003年11月</p> <p>2002年5月</p> <p>2002年5月</p> <p>2002年11月</p> <p>2002年11月</p> <p>2002年11月</p> <p>2001年</p> <p>2000年</p> <p>1999年1月</p> <p>1998年1月</p> <p>1998年</p> <p>1997年</p> <p>1997年</p> <p>1996年9月</p> <p>1996年6月</p> <p>1995年</p> <p>1995年</p> <p>1995年</p>	<p>集、Vol. 29</p> <p>土木計画学研究・講演集Vol. 30</p> <p>土木計画学研究・講演集Vol. 29</p> <p>土木史研究・講演集 Vol. 24, 土木学会</p> <p>土木史研究・講演集 Vol. 23, 土木学会</p> <p>土木計画学研究・講演集、Vol. 27</p> <p>土木計画学研究・講演集、Vol. 28</p> <p>土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、Vol. 8, 313-314頁</p> <p>土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、Vol. 8, 311-312頁</p> <p>土木計画学研究・講演集、Vol. 26</p> <p>土木計画学研究・講演集Vol. 26</p> <p>土木計画学研究・講演集、Vol. 26</p> <p>ファッション環境学会誌、Vol. 11, No. 1, 30-31頁</p> <p>近畿都市学会、日本都市学会</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集、No. 39, 769-772頁</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集、No. 38, 593-596頁</p> <p>日本建築学会学術講演概要集、No. F-1, 723-724頁</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p> <p>日本建築学会近畿支部論文報告集37</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集36</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集35</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p>	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<p>ちづくり参画に関する研究、--- その1・町丁目別のまちづくり参画実態 ---</p> <p>27. 三宅 正弘：大正・昭和初期の名古屋東部丘陵地住宅地開発における曲線道路の導入について</p> <p>28. 三宅 正弘：初期郊外住宅地のコミュニティ形成における共用施設整備のインパクト</p> <p>29. 三宅 正弘，三村 浩史，リムボン：都心商業地域のまちづくり活動における町衆企業の役割</p> <p>30. 三宅 正弘，高橋 昭子，丸茂 弘幸：小林一三による郊外住宅地経営の特徴について</p> <p>31. 三宅 正弘，丸茂 弘幸，高橋 昭子：成立期前夜の郊外住宅地像、--- 同時代人から見た成立期の郊外住宅地像に関する研究その1 ---</p>		<p>1995年</p> <p>1994年</p> <p>1994年</p> <p>1993年</p> <p>1993年</p>	<p>日本建築学会東海支部論文報告集</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集34</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p> <p>日本建築学会学術講演梗概集</p> <p>日本建築学会近畿支部研究報告集33</p>	
<b>6. 研究費の取得状況</b>				

学会及び社会における活動等

年月日	事項